

# 社会福祉

No.61

2025  
6月号

福祉のまちづくり  
(6月・10月・2月発行)



みんなで  
楽しく  
おしゃべり!



つながりが  
健康寿命を延ばす?



ご近所福祉  
クリエイター  
酒井保さん

日曜朝に  
学校でラジオ体操!



地域のお宝発表会(P14)

## トピックス

- 令和7年度 事業計画、予算 ..... P2・3
- 第77回赤い羽根作品コンクール ..... P4
- ボランティア養成講座 ..... P6・7
- ボランティア紹介リレー「みんなの環 いちのみや給食応援隊」 ..... P9
- 令和6年度 福祉体験作文コンクール優秀作品紹介 ..... P12・13
- 令和7年度 新入職員紹介 ..... P15

## 令和7年度 事業計画

少子高齢化・人口減少、貧困、地域社会からの孤立など、多様かつ複雑な福祉課題への対応が求められている中、新型コロナウイルス拡大による社会情勢の変化が、住民相互のつながりの希薄化や生活困窮状態の深刻化を加速させています。これまでの制度ごとの支援から、分野をまたがった総合的な支援と地域住民や多様な主体が「丸ごと」つながる支援へと転換することが求められています。

こうした背景の中、地域福祉推進の中核を担う社会福祉協議会の役割はますます大きくなっています。そのため、本会は、みんながつながり支え合い、地域が織りなす共生社会の実現をめざし、以下の基本方針により地域福祉の充実に取り組みます。

### <基本方針 (要約)>

#### 1.地域課題への対応

- ・「属性を問わない相談支援」、「多様な参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する包括的な支援が円滑に進められるよう多機関協働体制の構築を図ります。
- ・住民主体の福祉のまちづくりをめざし、地域での生活支援の仕組みづくりを関係機関と連携して進めます。

#### 2.地域福祉活動の推進

- ・支会活動の充実に図るとともに、職員が積極的に地域へ出向き、支会との連携を深めます。
- ・ボランティア活動の普及啓発を行うとともに、各種ボランティア講座等を開催し、ボランティアの育成に努めます。
- ・高齢者、障害者、子どものみならず誰でも一緒に参加できるスポーツ(ユニバーサルスポーツ)の普及啓発に努めます。
- ・日常生活自立支援事業では、制度の周知に努め、判断能力が十分でない方が自立して生活できるよう支援します。

#### 3.介護サービスの経営

- ・介護職員の人材確保を図り、収支改善を進めることで健全な経営に努めます。
- ・職員の研修体制の充実に図り、職員の資質向上に努めます。
- ・利用者から信頼される質の高いサービスを提供します。

#### 4.法人運営の強化

- ・法人の事業運営の強化及び透明性の向上を図るなど、信頼される法人運営に努めます。
- ・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を実施し、職員の災害時における危機管理意識を高めます。

# 令和7年度 資金収支予算

## 収 入

(単位：千円)

補 助 金	218,777
介護保険・障害福祉サービス等	154,214
受 託 金	85,196
繰 入 金	53,856
会 費	51,615
貸 付 事 業	649
寄 付 金 そ の 他	131,474
前期末支払資金残高	97,784
合 計	793,565

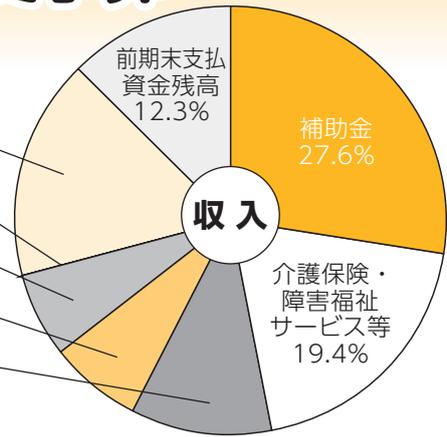
寄付金その他 16.6%

貸付事業 0.1%

会費 6.5%

繰入金 6.8%

受託金 10.7%



## 支 出

(単位：千円)

居 宅 介 護 等 事 業	275,563
法 人 運 営 事 業	180,447
一宮市受託事業	75,951
地域福祉活動推進事業	52,310
居 宅 介 護 支 援 事 業	36,557
相 談 支 援 事 業	35,634
共同募金配分金等事業	35,575
福祉サービス利用援助事業	14,604
貸 付 事 業	14,077
ボランティアセンター活動事業	9,516
基金運営事業他	29,822
当期末支払資金残高	33,509
合 計	793,565

当期末支払資金残高 4.2%

基金運営事業他 3.8%

ボランティアセンター活動事業 1.2%

貸付事業 1.8%

福祉サービス利用援助事業 1.8%

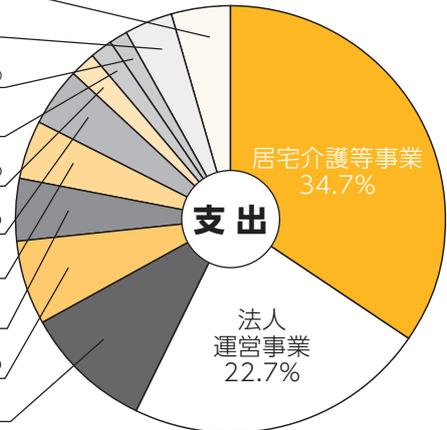
共同募金配分金等事業 4.5%

相談支援事業 4.5%

居宅介護支援事業 4.6%

地域福祉活動推進事業 6.6%

一宮市受託事業 9.6%



## 善意のご寄付ありがとうございました

2024年12月1日～2025年3月31日現在

### 合計770,081円

(敬称略・順不同)

一宮地区ボランティア集団 / ダイセーロジスティクス(株) / 坂井田ビル / (株)一宮看板店 / エス・ビー建材(株) / 萩原本町5班 / (一社) miraie / 一宮市グラウンド・ゴルフ協会 / (株)壱番屋 / 豊田合成(株) 尾西工場 / 一宮起工科高等学校 生徒会 / のんきやお客一同 / (学)愛知真和学園 大成中学校 / 他匿名3件

## 災害義援金へのご協力ありがとうございました

お寄せいただきました義援金は、中央共同募金会や、被災都道府県共同募金会を通して、全額被災された皆さまへ届けられます。

- 令和6年能登豪雨災害義援金
- 令和6年能登半島地震災害義援金
- 令和6年6・7月大雨災害義援金
- 大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金



第77回（令和7年度）

# 赤い羽根作品コンクール



募集期間 **7月1日(火)~8月15日(金)**

受付 9:00~17:15(土日、祝日除く)

## 募集作品

### 書道の部

- ・小学校3・4年生  
「ぼきん」「赤いはね」「たすけあい」から1点
- ・小学校5・6年生  
「共同募金」「赤い羽根」「思いやり」から1点
- ・中学校1~3年生  
「共同募金運動」「赤い羽根募金」「地域福祉活動」から1点

#### <注意点>

- ①用紙は書道用半紙とする。
- ②書体は随意、墨書でたて書きとする。
- ③左側に学年、名前を墨書する。

### ポスターの部

- ・小学校1年生~中学校3年生  
「たすけあい」「社会福祉」「赤い羽根」「共同募金」などの意味を含んだもの

#### <注意点>

画用紙の大きさは四つ切(54cm×38cm程度)とする。  
規格以外の画用紙を使った場合は対象外となります。

- ☆応募作品は各部とも1人1点に限ります。  
重複して提出しないようご注意ください。
- ☆優秀作品は展示をいたします。

## 留意事項

- ◎市内在住・在学の方が対象です。
- ◎下記の申込書を本会ウェブサイトからダウンロードし、作品の裏面右下に貼り付けてください。
- ◎作品の返却はしませんので、ご了承ください。
- ◎直接窓口にご提出ください（郵送不可）。  
※提出先は下記①~③です。8月15日(金) 17:15までにご提出ください。

#### ①本部

〒491-0858 栄3-1-2  
尾張一宮駅前ビル(i-ビル)4階

#### ②尾西支部

〒494-8601 東五城字備前12  
尾西庁舎4階

#### ③木曾川支部

〒493-0001 木曾川町黒田字西沼51  
高齢者生きがいセンター内

**みなさまのご応募  
お待ちしております!**

赤い羽根作品コンクール申込書			
ふりがな			
氏名			
住所	〒 <b>見本</b>		
電話番号			
学校名		学年	

## 一宮市共同募金委員会

社会福祉協議会内

138sk

検索



栄3-1-2

尾張一宮駅前ビル(i-ビル)4階

TEL 85-7024

「ボランティアしてみたいけど…なにから始めたらいいの?」という方へ

## はじめてのボランティア講座(全4回)

この講座では、実際の体験などを通じてボランティアの基礎知識を学びます。

対象：市内在住または、在学・在勤でボランティア活動に関心があり、活動への意欲がある方

定員：15名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールにて7月9日頃通知予定)

受講料：無料

申込み：7月4日(金)までに下記URLまたは右記二次元コードから申込み  
フォームでご応募、もしくは本部(Tel85-7024)までご連絡ください。

<https://forms.gle/QHorurVXMFt1DtNx5>

その他：受講にあたり、ボランティア活動保険に加入していただきます。

(ボランティア活動保険料250円が必要です)



日時	内容	会場
8月4日(月) 10:00~12:00	①ボランティアについて学ぶ	社会福祉協議会 大和事務所
9月~10月 ※体験受け入れ先と調整のうえ、後日決定	②ボランティア団体、イベント等での ボランティア体験	ボランティア団体 活動場所
10月19日(日) 9:30~16:00	③いちのみやボランティアフェスティ バル2025へのボランティア参加	一宮スポーツ 文化センター
11月7日(金) 10:00~12:00	④ボランティア体験の共有	社会福祉協議会 大和事務所

## ボランティア保険のご案内

### ● ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、自身がケガをした(傷害事故)、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(損害賠償事故)などの事故を補償する保険です。

#### ☑ 年間保険料

	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン	250円	300円	500円
天災プラン	400円	500円	800円

補償期間  
申込翌日から  
2026年3月31日まで

天災プランとは 地震・噴火・津波によるケガも補償するプランです。

### ● ボランティア行事用保険

ボランティア活動に関する各種行事における主催者および参加者のケガや賠償責任を補償する保険です。

#### ☑ 保険料

日帰り				宿泊
A行事	B行事	C行事	現地集合行事	1泊2日~
30円	127円	248円	30円	222円~

補償期間  
行事開催期間中

★受付窓口：本部・尾西支部・木曽川支部

★加入申込書には代表者の押印(または署名)が必要となります。なお、法人で加入される場合は必ず印鑑をお持ちください。



# 講座受講者募集!



## 点訳講習会(全10回)

「点字って難しそう…」そんなイメージを持っている方はいませんか?本講座は、初心者でも安心して受講できる内容です!

日時	6月24日~9月2日 毎週火曜日 13:30~15:30 ※ただし、8月12日は除く
会場	社会福祉協議会 本部(栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)
対象	市内在住・在勤で点訳、ボランティア活動に興味がある方
定員	15名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールにて6月12日頃通知予定)
受講料	無料(ただし、テキスト代770円が必要です)
申込み	6月9日(月)までに 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募、もしくは本部(Tel85-7024)まで ご連絡ください。 <a href="https://forms.gle/tESvpBrKREae36TdA">https://forms.gle/tESvpBrKREae36TdA</a>



## 手話奉仕員養成研修(入門)(全20回)

初心者・未経験者向けの講座です。一緒に手話を覚えましょう!

日時	7月1日~11月18日 毎週火曜日 10:00~12:00 ※ただし、9月23日は除く
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内在住で、聴覚障害の福祉に理解と熱意を持ち、受講後は手話奉仕員として活動できる方
定員	20名(応募多数の場合は未受講の方を優先し抽選。抽選結果はメールにて6月19日頃通知予定)
受講料	無料(ただし、テキスト代4,290円が必要です)
申込み	6月16日(月)までに 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募、もしくは尾西支部(Tel63-4800)までご連絡ください。 <a href="https://forms.gle/piEjL36EFcxskCBc6">https://forms.gle/piEjL36EFcxskCBc6</a>



## 手話奉仕員養成研修(基礎)(全25回)

手話を使って日常会話ができるようにレベルアップを目指しましょう。

日時	6月25日~12月17日 毎週水曜日 19:00~21:00 ※ただし、8月13日は除く
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内在住で、手話奉仕員養成研修(入門)を受講した方、または、同等の知識及び技術を有する方。聴覚障害、聴覚障害者の生活等の理解を更に深め、手話の技術を身に付けたい方。
定員	20名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールにて6月13日頃通知予定)
受講料	無料(ただし、テキスト代3,300円が必要です)
申込み	6月10日(火)までに 下記URLまたは右記二次元コードから 申込みフォームでご応募、もしくは尾西支部(Tel63-4800)までご連絡ください。 <a href="https://forms.gle/HD4FfepUxMvDrfoWA">https://forms.gle/HD4FfepUxMvDrfoWA</a>





# こども向けボランティア講座



※申し込みは児童と保護者がよく相談し、必ず保護者が行ってください。

## 夏休みこども点字教室(全5回)

自分の好きな絵本で点字の本を作ってみよう！

日時	7月24日～8月28日 毎週木曜日 13:30～15:30 ※ただし、8月14日は除く
会場	高齢者生きがいセンター2階 介護用品展示室(木曾川町黒田字西沼51)
対象	市内の小学5・6年生 点字に関心のある児童
定員	12名(応募多数の場合は初参加の6年生を優先し抽選。抽選結果はメールにて7月4日頃通知予定)
受講料	無料
申込み	6月27日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募、 もしくは本部(Tel85-7024)までご連絡ください。 <a href="https://forms.gle/HBh5QwKFkrNv8ilG9">https://forms.gle/HBh5QwKFkrNv8ilG9</a>



## 夏休みこども手話教室(全5回)

手話で自己紹介にチャレンジしてみませんか？

日時	7月24日(木)、28日(月)、8月7日(木)、21日(木)、28日(木) 9:30～11:00
会場	尾西庁舎4階 会議室(東五城字備前12)
対象	市内の小学5・6年生 手話に関心のある児童
定員	20名(応募多数の場合は初参加の6年生を優先し抽選。抽選結果はメールにて7月4日頃通知予定)
受講料	無料
申込み	6月27日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募、 もしくは尾西支部(Tel63-4800)までご連絡ください。 <a href="https://forms.gle/WPaJooCgmNAkDAiJA">https://forms.gle/WPaJooCgmNAkDAiJA</a>



## こどもボランティアスクール(全4回)

ボランティア活動や福祉体験を行いながら、みんなで楽しく「ふくし～ふだんのくらしのしあわせ～」について学びましょう。

対象：市内の小学5・6年生 / 定員：20名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールにて7月11日頃通知予定) / 受講料：無料

申込み：7月4日(金)までに下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募、もしくは尾西支部(Tel63-4800)までご連絡ください。

<https://forms.gle/GTUnQW9suBb659cd6>



日時	体験内容	会場
8月24日(日) 9:30～15:00	①福祉体験 目や耳の不自由な人と一緒にカレーを作って食べよう	尾西庁舎 5階 調理室
9月20日(土) 9:30～12:00	②ユニバーサルスポーツ体験 「ブラインドサッカー」をやってみよう	いちい信金中央アリーナ (いちのみや中央プラザ体育館)
10月25日(土) 9:30～15:30 26日(日) ※どちらか一日のみの参加でも可。	③ボランティア体験 「赤い羽根共同募金」の街頭募金をお手伝い	尾西市民会館 (びさいまつり会場) 周辺
11月16日(日) 9:30～15:00 ※弁当持参	④ボランティア探検隊 「まちのやさしさ」を探してみよう	尾張一宮駅前ビル (i-ビル)4階

※都合により、内容や場所を一部変更する場合があります。

## 協力会員向けちょこボラサービス説明会

ボランティア活動やちょこボラサービスを知りたいという方はぜひお気軽にご参加ください。

日時	6月30日(月)、7月2日(水) 13:30~14:30
会場	社会福祉協議会 本部 (栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階)
対象	ちょこボラサービスの協力会員に興味がある方
定員	各日20名(応募多数の場合は抽選。抽選結果はメールまたは電話にて6月24日頃通知予定)
受講料	無料
持ち物	筆記用具
申込み	6月20日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募、 もしくは本部(Tel85-7024)までご連絡ください。 <a href="https://forms.gle/EqtJWT5bqbUs3ak98">https://forms.gle/EqtJWT5bqbUs3ak98</a>
その他	・説明会は2回とも同じ内容です。どちらかにご参加ください。 ・ちょこボラサービスの詳細については下記URLまたは右記二次元コードから、ご覧ください。 (ご不明な点がございましたら本部までご連絡ください) <a href="https://www.138sk.org/index.php/a/25-vc/182-chokobora">https://www.138sk.org/index.php/a/25-vc/182-chokobora</a>



## 初心者向け料理教室(全3回)

料理をしたことがない方に向けた、無理なく料理を始めることができる講座です。

日時	6月27日(金)、7月4日(金)、25日(金) 10:00~12:00
会場	一宮生活協同組合 生活センター(末広2-19-1)
対象	市内在住の65歳以上で全日参加でき料理未経験、初心者の方
定員	12名(応募多数の場合は未受講の方を優先し抽選。抽選結果はメールまたは電話にて6月17日頃通知予定)
受講料	1,000円(3日間分) ※追加徴収する場合もあり
持ち物	マスク、エプロン、三角巾、手拭き用タオル、台拭き、布巾、水分補給用飲料
講師	修文大学 健康栄養学部 管理栄養学科 准教授 小島 真由美 さん
申込み	6月13日(金)までに 下記URLまたは右記二次元コードから申込みフォームでご応募、 もしくは本部(Tel85-7024)までご連絡ください。 <a href="https://forms.gle/9GjPEmXXFazVTgZ16">https://forms.gle/9GjPEmXXFazVTgZ16</a>
その他	1日目・3日目は料理を、2日目は参加者同士の交流を行う予定です。



## 気軽に学べるスマホ講座

スマホで悩んでいる方、スマホを活用したい方、楽しく学びたい方に1人1台のスマートフォンをお貸しして基本操作を体験します！

日時	7月18日(金) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00
会場	社会福祉協議会 大和事務所(大和町宮地花池中道9-16)
対象	市内在住の65歳以上でスマホの操作方法にお悩みの方
定員	各回20名(応募多数の場合は、未受講の方を優先し抽選)
受講料	無料
内容	『スマホならではの機能』の体験
講師	ソフトバンク株式会社認定講師
申込み	6月27日(金) <b>必着</b> <b>往復はがき</b> を使用し、往信用はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号を明記のうえ、お申し込みください。 〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)「スマホ講座担当者」あて ※当落結果を返信用はがきでご案内いたします。
その他	スマホをお持ちでない方、ソフトバンク以外の携帯会社の方も参加できます。 受講日時は①②のいずれかで、事務局にて振り分けさせていただきます。ご希望には添えませんのであらかじめご了承ください。





# ボランティア紹介リレー

第35回

今回は『子育てグループHiro\*Lino(ひろりの)』さんからの紹介で、『みんなの環～いちのみや給食応援隊～』さんをご紹介します!

代表の足立さんにお話をうかがいました。

## 「みんなの環～いちのみや給食応援隊～」とは?

2024年7月「ナチュラルスクールランチアクションいちのみや」から「みんなの環～いちのみや給食応援隊～」に改名しました。これまで給食を軸に活動をしてきましたが、子どもたちが食を通じて「未来につながる選択」を実感できるような取り組みをさらに広げていきたいと考え、改名に至りました。



給食は、小中学校などに通う子どもたちの3食の内1食を担う大切なものだと考えます。一宮市の給食は、地産地消や和食文化を大切にしてくれており、生産者さんや栄養教諭さん、調理員さんなど給食に携わる方々の思いが込められています。その給食の食材が、地産地消の食材で、さらには環境負荷や飼育環境に配慮したものが使用されることで、【給食を食べる】行為が地域活性や地球環境の改善に繋がり「食べることで地域・地球が元気になる」という循環が生まれると考え活動してきました。今後は、給食にとどまらず、畑や食の本質を身近に感じてもらう活

動を拡充し【プラネタリーヘルス(地球と人の健康を考えた取組)】の考え方を広めていきます。「食べたものでカラダは作られる」という基本的な視点に加え、「何を選択するかで、自分や家族、大切な人を守ることに繋がる」そんな食の大切さを発信していきます。

## どんな活動をしていますか? 今後の予定も教えてください!

### ①さつまいもの苗植え&収穫&焼き芋パーティー

市内にある畑でさつまいもの栽培体験をしていただけます。苗植えから収穫までを楽しめます。

今年も開催! さつまいもプロジェクト2025を準備中!

6月半ば: 苗植え、7月末: ツル返し、11月頃: 収穫の予定です。

詳細は決まり次第Instagramに投稿いたしますのでご確認ください。

### ②映画の自主上映

「マイクロプラスチックストーリーぼくらが作る2050年」の自主上映を予定中!



## やりがいとは?

まずは「自分自身が楽しんで取り組んでいる」ことが一番です。そして、子どもたちや地域の人々が喜ぶ姿を直接見られることも大きなやりがいです。子どもたちが夢中になって収穫を楽しむ姿、虫やカエルを見つけてはしゃぐ姿、収穫した野菜を食べて「美味しい!」という言葉や反応などが、活動のエネルギーになっています。また、地域の農家さんが作業を手伝ってくださったり、畑が地域の人たちの交流の場になったりすることに喜びを感じています。

## 最後にひとこと!

食べることは生きること。食べたもので自分の体は作られるので、何をどう選んで食べるかということを考えられるきっかけを、これからも創っていきなと思います。ここに来たら安心という、気軽に来られる居場所のような形の畑を目指しています。ぜひ畑に遊びに来てください。

「みんなの環～いちのみや給食応援隊～」さんInstagramリンク⇒

[https://www.instagram.com/minnano\\_wa138/](https://www.instagram.com/minnano_wa138/)

※最新情報はリンクからInstagramをご確認ください。



## おすすめ福祉の本

# ばあばは、だいじょうぶ

楠 章子 作 いしいつとむ 絵 株式会社 童心社



図書館で借りることができます。

どんな時も「大丈夫よ」と、励ましてくれる大好きだったばあば。だんだんと物忘れがひどくなり、ある日突然、家からいなくなってしまう・・・

忘れてしまう病にかかったばあばのことを孫の視点から描かれた作品です。

胸がきゅっとなり、家族の「絆」をあらためて考えさせられる1冊です。

おばあちゃん、おじいちゃんが大好きなご家族はもちろん、ご高齢の方との向き合い方に悩んでいる方、認知症のことを知ってもらいたいお子さんにもおススメです。

# 皆さまのご支援・ご協力ありがとうございました



街頭募金の様子



## 令和6年度 赤い羽根共同募金最終実績

(実施期間:2024年10月1日~2025年3月31日)

募金種別	目標額(円)	募金額(円)	達成率(%)
戸別募金	31,000,000	26,280,898	84.8
法人・個人大口募金	8,600,000	7,179,021	83.5
学校募金	1,400,000	1,211,827	86.6
街頭募金	500,000	547,423	109.5
職域募金	400,000	383,653	95.9
イベント・窓口募金等	500,000	752,674	150.5
合計	42,400,000	36,355,496	85.7

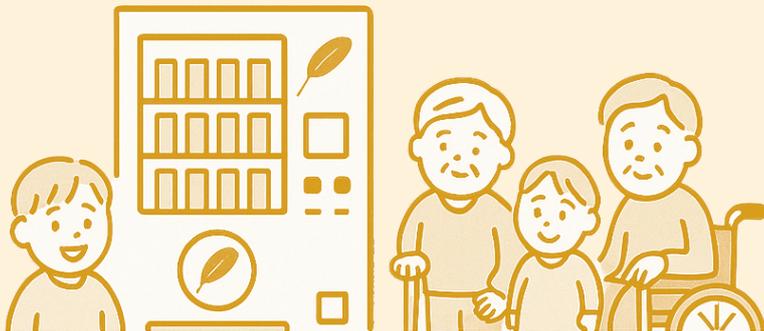
お寄せいただいた募金については、全額愛知県共同募金会に送金したうえで、一宮市社会福祉協議会への配分金を活用し、市内の生活課題や地域課題を解決するためのさまざまな福祉活動(※)のほか、県内の社会福祉施設への支援や災害時における「災害ボランティアセンター」の設置・運営など、被災地支援にも役立てられます。

※福祉活動の一例: ふれあい・いきいきサロン活動助成、福祉実践教室、おもちゃ図書館運営など  
次号(2025年10月号)に「令和7年度赤い羽根共同募金」のご案内を掲載予定です。今年度につきましても、“じぶんの町を良くするしくみ”に引き続きご協力よろしくお願いいたします。

**多額のご寄付をいただいた法人・個人の皆さまに、愛知県共同募金会長から感謝状が贈呈されました。**

一宮市職員労働組合 / 有限会社マガジン / 金生織物工場 高間久典 / 学校法人愛知真和学園  
大成中学校 / 一般社団法人一宮市医師会 / 大野哲男 (敬称略・順不同)

## 赤い羽根共同募金 自動販売機で社会貢献



飲み物購入 → 募金に!

売り上げの一部が赤い羽根共同募金会に寄付される仕組みの赤い羽根募金自動販売機。寄付金は、県内の福祉関係施設、子どもたち、高齢者、障害のある方などを支援するさまざまな福祉活動や災害支援に助成されます。

飲み物を購入するだけで気軽に募金ができ、身近な地域の福祉に貢献できます。

### 一宮市内 設置場所一覧

- ・株式会社アバンセコーポレーション
- ・サンポッカサービス株式会社一宮営業所
- ・中村土木株式会社
- ・県立一宮北高等学校
- ・医療法人翔樹会東五城
- ・メゾンドール天神

ご協力  
ありがとうございます

2040年には65歳以上の高齢者の3人に1人が認知症（軽度認知障害含む）にかかるといわれ、認知症は私たちにとって身近なものになっています。普段のくらしの中で、自分自身や家族・友人など周りの人に対し「もしかして認知症では?」と思うこともあるでしょう。そんなときは、早期発見のため一人で悩まず専門家などに相談することが大切です。今回は、一宮市内の認知症に関する相談先をご紹介します。

### 各機関が相互に連携しています



#### 生活支援に関する相談

##### ◇一宮市

認知症や介護に関する相談や様々な施策を実施しています。

→高年福祉課 地域支援グループ  
Tel 28-9151

##### ◇地域包括支援センター(市委託)

高齢者やその家族を支援する総合相談窓口です。

認知症に関する相談のほかにも、医療機関の受診、介護サービスの利用、高齢者虐待などについて相談できます。

- ・やすらぎ(神山・今伊勢町・奥町) 61-3350
  - ・コムックスみづほ(葉栗・北方町・木曾川町) .....86-5333
  - ・アウン(西成・浅井町) .....51-1384
  - ・ちあき(向山・富士・丹陽町・千秋町) .....81-1711
  - ・萩の里(大和町・萩原町) .....67-3633
  - ・泰玄会(起・小信中島・三条・大徳・朝日・開明) .....61-8273
  - ・まちなか(宮西・貴船・大志) ...85-8672
- ※()内は担当地区

##### ◇居宅介護支援事業所のケアマネジャー

##### ◇介護サービス提供事業所

#### 医療に関する相談

##### ◇かかりつけ医

もの忘れの悪化や不自然な言動がみられる場合には、まず本人の状態をよく知るかかりつけ医に相談しましょう。専門医療機関を受診する際に、かかりつけ医からの紹介状があるとスムーズです。

##### ◇認知症専門医療機関

精神科、神経内科などは認知症の相談に対応しています。

##### ◇認知症疾患医療センター(県指定)

認知症鑑別、認知症の行動・心理症状に対しての治療などを行います。

→上林記念病院 Tel 80-8261 ※要予約

##### ◇認知症初期集中支援チーム

市内の40歳以上の自宅で生活する方のうち、認知症が疑われる方や認知症の方で、適切な支援をうけられていない方を対象に、精神保健福祉士、看護師等がチームで支援を行います。

困りごとの解決策を一緒に考え、必要な医療、介護サービスにつなげます。

→認知症初期集中支援センターあんず(市委託) Tel 80-8262

##### ◇一宮市成年後見支援センター(市委託)

→社会福祉協議会 Tel 85-8828

迷ったときが相談どき!  
まずは相談してみましょう。



第4回へつづく



ことから、ホームで開催されているイベントや活動はとても大切なことだと施設の方が教えてくださった。僕が毎月楽しみにしているホームからの便りには、そのさまざまな楽しいイベントの様子が掲載されている。そして今、コロナの規制が緩和され、ホームに行くことと祖母と直接会うことが出来るようになった。画面越しのときと比べると直接会えることはとてもうれしいのだが、いつも決まって辛くなるときがある。認知症の祖母は、僕と弟の顔を見ると毎回必ず同じことを言う。「もうすぐしたらここを出て、そしたらまたご飯いっぱい作るからね。」と。その言葉を聞く度に僕は胸が締め付けられるように苦しくなり涙が出るのを堪えている。祖母の優しい言葉と、僕の好物だった祖母の作ったケチャップのかかった熱々のハンバーグの味が思い出されてくる。

「福祉」とは、「すべての人が幸せに生活するためのとりくみ」とある。ホームで過ごしている今の祖母の姿には笑顔が多い。きっと大好きだった祖父が亡くなってから一人で過ごしていた頃よりも、今の祖母は「幸せ」なんだと思う。そんな祖母の幸せには、家族だけではなく、さまざまな方達のサポートがあるからこそだと僕は思う。

祖母の異変を最初に伝えてくださった警察の方々。グループホームを紹介し、支えてくださった支援センターの方々。そして今現在、祖母の生活をサポートしてくださっているグループホームの方々。

福祉とは幸せ。そして幸せとは「優しさ」でもあると僕は思う。今の祖母の生活はたくさんの方々の優しさから生まれてきていると思う。その優しさで感謝の気持ちでいっぱいになる。そして僕も人を幸せに出来る人になりたいと思う。中学生の僕にも今出来ることはたくさんあるはずだ。学校生活の中にもあるだろうし、日常の中でも、例えば電車やバスで席を譲ることだってできる。毎日の生活の中で僕にできる優しさを行動に移していきたい。

一つでも幸せを増やしていけるように。  
祖母の幸せそうな笑顔の便りを見て、僕はそう強く思った。

## 「敬う心を」

### 一宮市立丹陽中学校

#### 2年 杉山 舞音花さん



私は、以前から福祉活動に興味があり、夏休みにある福祉活動に応募しました。

活動当日、私は少し緊張していましたが、施設の職員の人たちは、優しく出迎えてくださり、私に丁寧に介護についての説明などをしてくれました。

施設にいる人は、高齢者で、認知症を患っていたり、足が悪くて歩けなかったりする人など、さまざまな病気を患っている人が、この施設に通っているということを知ることが出来ました。

次にお話をされたことが、私の中でとても印象に残りました。それは、

「認知症の方は、何回も同じことを言ったり、変なことを話し出したりすることがあります。でもそのときに『この話、二回目ですよ。』などと、おかしなところを指摘するようなことを言わないようにしてくださいね。」

というお話です。職員の方によると、

「間違いを指摘された認知症の人は、ショックを受けてしまうので、例えば同じ話や変な話をしていたとしても、それをしっかりと聞いてあげることが大切なんですよ。」

と、間違いを指摘することが正しい接し方とは限らず、心遣いが大切とのことでした。そのとき私の頭の中にハッとあることがよみがえりました。私の亡くなったおじいちゃんのことを思い出したのです。私が小学四年生のある日、私のおじいちゃんはお風呂で倒れ、検査をすると、脳梗塞だとわか



りました。以来、おじいちゃんは変わってしまいました。それまでは、児童養護施設の先生をしていて、いつも頭の中は養護施設の子供たちのことを考えていました。算数も得意で、私にたくさんの問題集を作ってくれてくれるなど、いつも太陽のように明るく元気がいっぱい、優しいおじいちゃんでした。でも、倒れてからというもの、足が動かなくなっていく、どんどん話すことがあやふやになっていきました。ときには、自分の年齢を二十歳や九十歳など、本当の年齢と違うことを言い出すことがあって、私はその度に、「違うよ」と言い、本当の年齢を伝えていました。

でも、そのときのおじいちゃんは、何とも言えない表情をしていたのを覚えています。私の何気ない一言や、私の一方的な想いで、おじいちゃんを傷つけていたのではないかと、ハッと、そのことがよみがえったのです。

もう一度、自分の立場に置き換えて、職員さんが言った言葉を心の中で呼び起こしました。

「同じ話や変な話をしていたとしても、それをしっかりと聞くことが大切です。」

「おかしなところを指摘するようなことを言っただけじゃいけないですよ。」心の中で響くこの言葉。そうか私は、おじいちゃんの気持ちも考えず、相手の立場になっていなかったのだと、改めて気づかされたのでした。

本当の年齢を言えば思い出してくるだろう。おじいちゃんはいつか必ず元のように戻ってくれるだろうと。

でもそれは、ただ私の一方的な願望だったので。そのときのおじいちゃんの状態から目を背けていて、本当の意味で認めていなかったのではないかと、認めることが怖かったのではないかと今になって思います。

相手の状態をしっかり受け入れて、そして相手に合わせていくこと。これこそが、相手を思い、相手を尊重する気持ちなんだと思っただけです。

そんなおじいちゃんは、小学五年生の夏に、天国に行きました。おじいちゃんにしてあげられなかったことや、あのとき、こんな言葉をかけてあげられていたら……と、そんなことを考えていたら、後悔の想いがぐつと込み上げてきました。

でも、この後悔する気持ちがあるからこそ、今回の福祉活動で出会った職員さんの言葉や、接し方を重く受け止めることができたように思います。

福祉活動や私のおじいちゃんとの経験をを通して思うことは、相手の状態を知ることの大切さと、そして一方的な想いではなく、相手の気持ちに寄り添う心の重要さです。

人はいつまでも健康ではいられません。会話も思うようにできなくなったり、体も思うように動かせなくなったり、私たちはいづれ、一人で生きていくことが困難になります。人は、人の支えの中で生きていくということ、福祉活動を通して、改めて思い知らされました。私は今後、相手の気持ちに寄り添っているかどうか、相手を尊重しているかどうか、温かく人に手を差し伸べていける人になれるよう、向き合い続けていきたいと思えます。

## 令和6年度 福祉体験作文コンクール優秀作品

このコンクールは、児童・生徒がボランティア活動などの体験を通じ、感じたことや考えたことを表した作文を募集したものです。愛知県社会福祉協議会での審査の結果、一宮市から3編が優秀作品として入選しましたので、紹介します。  
※令和6年度時点の学校・学年です。

### 「何事にも挑戦」

一宮市立富士小学校  
6年 松本 奈夕さん



私は、昨年の一宮市スポーツ協会表しよう式で小田凱人選手によるトークショーに出席しました。小田選手は、一宮市出身で九才の時に左あしこ関節の骨肉しゅと診断され、その後左あしの一部を切除する手術を行い、障害者となった話を聞きました。今まで私は、障害者の方と接する機会があまり無かったので、とてもショックを受けました。しかし、小田選手は、こうき心あふれ、ポジティブ思考でその苦しい時を乗り越えました。この夏開催しているパリのパラリンピックの選手として出場しています。出場種目である車いすテニスとの出会いは、病院の先生から動画を観せてもらった時「かっこいい」と思ったこうき心から始めたそうです。現在、小田選手の活やくは、みんなを元気にしてくれています。もちろん、私も新聞などで優勝の記事を見つけたら、自分もがんばろうと勇気をもっています。なので私も、苦しんでいる人、困っている人を助けたい。力になりたい。と思います、この夏休みから、看護師体験、認知症サポーター養成講座、こどもボランティアスクールへ参加する事にしました。

看護師体験で一番印象に残ったのは、患者さん一人一人に声をかける時の対応の仕方です。少し距りのはなれた高れいの患者さんには、大きな声でゆっくりと話しかけて気にかけてながら、目の前にいる患者さんの治りようもしていました。患者さん達の不安や痛みを理解している姿に、看護師という職業には、治りようだけでなく患者さんの心に寄りそう奥の深さを感じました。それは、患者さんの人生を尊重し、話しやすい環境や関係性をつくることの大切さ、また、思いやりの心を持ち、信頼される看護師さんの姿を学びました。

認知症サポーター養成講座では、脳のしくみ、認知症の症状や予防、関わり方、ケアに関する内容までさまざまなる事を教えていただきました。その中で、認知症当事者の方の体験談を聞く事が出来ました。その方は、十年前に認知症と診断された方ですが、見た目では、認知症かどうか全くわかりません。でも、認知症という事をかくさずに生活をし、周りのサポートを受けながら、毎日を楽しんで生活してみえるそうです。認知症は、治らない病気ではあるけれど、進行をおくらせることは出来ます。なので、治りようしていく中でも、普通の生活を送れる事も知りました。もちろん、周りのサポートは必要です。おどろかせない。いそがせない。相手がいやだと思っことは言わない。この三つを守って私も接していきたいです。認知症キッズサポーターとして、認知症について知らない人や間ちがって理解している人に、今回学んだ事を生かして、伝えられたらうれしいです。

これから始まる、こどもボランティアスクールでは、障害者の方とカレを作ったり、車いすツインバスケットをしたり、街頭募金のお手伝い出来るので、とても、楽しい気持ちと心が引きまわった気持ちで

いっばいです。

今すぐには、人の役に立てる事は少ないかもしれませんが、障害や年れいに関係なく、みんなが笑顔で手を取り合える社会になってほしい。その力に私もなりたいたいと強く思いました。

### 「優しさから生まれる幸せ」

一宮市立北部中学校  
1年 松原 弘将さん



僕には毎月、とても楽しみにしている便りがある。夕方学校から帰宅し家のポストを覗き、その封筒が入っているとうれしくて真っ先に封を開ける。それは祖母が入居しているグループホームから届く毎月の便りだ。入居している方々の日常がカラー写真でふんだんに印刷されている。僕はまず、たくさんの写真の中から大好きな祖母の写真を探し、見つけた瞬間うれしさで自然と笑みがこぼれてくる。先月は折り紙で紫色の花を作ったり、おやつレクで皆さんと一緒に楽しそうにおやつを食べたりしている祖母の姿が写っていた。

僕の祖母は、僕が小学五年生の時に祖父が亡くなり、祖父の死後しばらくしてアルツハイマー型認知症を発症した。認知症は、その人にとって大切な人や物を失ったショックや悲しみから誘発されることも珍しくはないそうだ。

僕が小さい頃、祖父母の家に行くと、いつもテーブルの上には祖母の手料理が溢れそうほど並んでいた。料理上手な祖母が作った食事を家族みんなで囲んで食べるのが僕は大好きだった。そんな祖母が認知症を発症したことを、初期の段階では僕達家族は誰も気づくことが出来なかった。祖父が亡くなってから一人暮らしとなった祖母は、僕達が遊びに行くと、いつも変わらず駆け足を作って出迎えてくれた。本当にいつもと何ら変わらぬ。

祖母の異変を知らせてくれたのは警察からの一本の電話だった。家の中に不審者が居ると、祖母が電話したからだった。そして警察の方は祖母からの通報は、これまでも何度かあったことも教えてくださった。祖母の病状には初期の頃には波があり、僕達家族と一緒に居るときはいつもの明るくて料理上手な祖母だったが、一人の時間に寂しさを感じると見えぬ人や物が見え、認知機能の低下が現れているとのことだった。

その後、認知症を発症した祖母と、祖母を支える僕達家族を助けてくださったのは、地域包括支援センターの方々だった。家族が行けない日は訪問してくださる。父と母には認知症の方が入居するグループホームを紹介してくださった。グループホームでは認知症ケアや生活自立サポートが行われ、その中で毎日のように様々なイベントが開催されているとのことだった。

祖母が入居して初めて会いに行ったときは、コロナ禍だったため、オンラインでの画面越しの面会だった。直接会うことは出来ないけれど画面の中の祖母は、トランプをしたりお花見に行ったりしたことなどを楽しそうに話してくれた。認知症は脳の刺激が少ないと進行が早まる可能性がある

# 支えあい通信

## 一宮市内のすてきなつながり 地域のお宝発表会

3月23日(日)に尾州ファッションデザインセンターにて「一宮市内のすてきなつながり 地域のお宝発表会」を開催しました。この発表会では地域に由来する活動や日常的に行っている住民の支え合い活動を『お宝』と称し、『お宝』の意義について学び、今後の支え合い活動や見守り活動の発展につなげることを目的としています。今回は発表会の内容を報告いたします。

### 第1部：基調講演 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 さん

#### 地域のお宝とは？

なぜ今、福祉サービスではなく地域の中にある自然な支え合いが大切なのか？



【講演会の様子】

2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、高齢者の人口が急増します（2025年問題）。そんな中、いつまでも元気に過ごすためには『普段のつながり』が大切です。友達とのお茶飲み、散歩、旅行、サロン等の集いの場、趣味の集まり、町内会の活動など、日常的な『普段のつながり』が健康寿命を延ばし、自分たちの「暮らしぶり」を整えることが大切とお話をいただきました。

### 第2部：パネルディスカッション～地域のお宝発表会～

事例紹介①：大和町連区：日曜朝ラジオ体操（勝又さん）

事例紹介②：丹陽町連区：東三ツ井おしゃべり会（松尾さん）



【日曜朝ラジオ体操の様子】

事例紹介①：コロナ禍で地域のつながりが薄れたことをきっかけに、毎週日曜日の6時30分から大和東小学校のグラウンドでラジオ体操を開始。この取り組みを通じて、「来ない人がいると心配で自然と声をかけあうようになったり、道で出会っても、一方的に知っているだけで話しかけづらかった方に気軽に声をかけられるようになる等、参加者同士の見守りが自然に生まれている」とお話をいただきました。



【東三ツ井おしゃべり会の様子】

事例紹介②：地域のいくつかあった喫茶店が閉店し、地域の集う場がなくなったこと等をきっかけに公民館を活用したおしゃべり会を2018年から毎月第2・4火曜日の午前中に開始。おしゃべり会では「脳トレ・体操・カラオケ等を行い、参加者の健康促進になっているとともに、参加者同士が互いに声をかけあい、お互いの見守りが自然とできている」とお話をいただきました。

### お宝発表会を終えて．．．

発表会を通して、『お宝』は健康維持・見守り・孤立予防等様々な効果があると実感することができました。ぜひ、皆さんも自分の「暮らしぶり」に意識を向けて大切にしていきたいと思えます。

# 2025年度 新入職員紹介

今春、新たに3名が一宮市社会福祉協議会の職員として加わることになりました。皆さんに早く顔と名前を覚えていただくため、簡単ですが紹介させていただきます。

- ①宗宮 佑一郎(そうみや ゆういちろう)
- ②コーヒーショップ巡り
- ③地域の皆さまに寄り添い、安心して暮らせるお手伝いができるよう努めます。今後ともよろしくお願いいたします。



- ①氏名(ふりがな)
- ②趣味
- ③ひとことPR

- ①齋木 葵(さいき あおい)
- ②裁縫、旅行
- ③一宮市の皆さんに寄り添って、もっとやさしく、もっと楽しいまちづくりに、社協の一員として貢献したいと思っております。よろしくお願いいたします。

- ①浅井 香穂(あさい かほ)
- ②旅行、ホットヨガ
- ③一人ひとりに寄り添い、多くの方に安心した暮らしを送っていただけるように尽力します。

どうぞよろしくお願いいたします。



車いす  
使用の職員  
発信

## 車いすといっしょに



### 第25回「雨天時の移動」

雨天時の外出が増える時期になってきました。以前紹介した「車いす用の雨合羽」を使うなど、雨への対処法はありますが、不便さを感じる場面も少なくありません。雨合羽で上半身が覆われると、車いすをこぐ手が隠れがちになります。前に進むのに欠かせないタイヤの外側の部分(ハンドリム)が握りづらくなるため、より移動に時間がかかります。

以前、人通りが多いところを移動しているときに、雪混じりの雨が降ってきたことがあります。ワイパーを動かして走る自動車や、傘をさす歩行者に気をつけながらの移動です。その場は何とか乗り切れましたが、晴天時と比べてどうしても車いすの操作性や視界は悪く、かなり大変でした。不慣れな場所で焦る気持ちがあるなかでも、落ち着いて行動することが大切だと感じます。(小鹿)

### ユニバーサルスポーツの紹介

## 「パラダンススポーツ」

「パラダンススポーツ」に参加する選手は、車いすを使用する「ドライバー」と、ドライバーと共に踊る健常者の「スタンディング」に大別されます。たとえば2人組競技には、ドライバーとスタンディングで踊る「コンビ」と、ドライバー同士の組となる「デュオ」があるなど、種目の多様さが特徴です。2人制のほか、ドライバー1人で踊る「シングル」もあり、いずれも複数の組・選手が同時に採点されます。これらは、既定の演目を最大で10種類こなすものです。なかにはドライバーが、内容や人数を選んで組み合わせられる「フリースタイル」という競技もあり、ドライバーの個性があらわれます。

# 一宮市成年後見 支援センター 開設

一宮市から委託を受け、2025年3月10日に開設しました。成年後見をはじめとする制度の相談や、利用の支援を行い、判断能力が低下しても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、関係機関と連携しながら支援を行います。

## ～こんなとき、ぜひご相談ください～

- 成年後見制度を詳しく知りたい
- 認知症や障害などにより判断能力が十分でない人が...
  - ・物忘れがありお金の管理がうまくできない
  - ・頻繁に悪徳商法の被害に遭いかけている
  - ・福祉サービスなどの利用手続きが難しい

お気軽に  
ご相談ください。



↑パンフレット  
詳細は下記二次元コードから  
ご覧いただけます



一宮市成年後見支援センター  
(社会福祉協議会内)  
平日9:00~16:30まで  
(土日祝、年末年始は休み)

【問い合わせ】  
TEL:0586-85-8828

## ?応募!クイズ

図書カード  
¥1,000

令和6年度福祉体験作文コンクールにて  
優秀作品として一宮市から入選したのは  
何編でしょう? ヒント12,13ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします!ハガキもしくは下記応募フォームのいずれかでご応募ください。ハガキの場合は①クイズの答え②本紙に対するご意見・ご感想③住所④氏名⑤年齢を明記ください。

【2025年6月30日(月)まで(消印有効)】

〒491-0858 一宮市栄3-1-2 尾張一宮駅前ビル4階(一宮市社会福祉協議会内)

「いちのみやの社会福祉」編集係あて  
応募フォーム

<https://forms.gle/Mxpu6j8vQa6yQbx5A>

2月号クイズ当選者発表(応募総数143件)  
梶浦様(西成)西川様(丹陽町)日比野様(北方町)菱川様(西成)永井様(富士)  
クイズの答え:MCI



## 相続税対策は早めがカギ!



大切な財産と家族の未来を守る

- ☑ 相続税の試算はお済みですか?
- ☑ 税理士が節税のコツを解説!
- ☑ 贈与と相続のどちらが得か?

相続に強い地元の税理士にお任せください

税理士法人  
ベストフレンド  
一宮市森本二丁目26番5号

初回相談無料  
0586-24-5775



## 広告募集中

【掲載枠】1枠 縦55mm×横80mm	最大4枠
【掲載料】1回1枠 20,000円	複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(TEL:85-7024)まで